

環境・都市 ～水と緑に包まれ住まう～

◆デジタル行政推進

2,498 万円

『デジタル長浜元年 ～“デジタルのチカラ”で「くらし」と「市役所」に変革を』をスローガンに、情報通信技術の利用拡大などによる行政デジタル化への加速を通じて、市民サービスの利便性向上や業務の効率化に取り組みます。



◆市営住宅北新団地建替整備

8億 4,791 万円

老朽化した市営住宅北新団地と神照団地を集約し、民間資本を活用したPFI手法により新たに1棟40戸の市営住宅を建替整備して、安心安全な居住環境を提供します。また、余剰地を分譲地整備して地域の活性化を図ります。



◆北部地域の魅力発信

320 万円

奥びわ湖や余呉湖などの美しい自然景観や、地域に数多く残る歴史文化・史跡などの北部地域の魅力発信を通して交流人口の拡大をめざす住民主体の取組みを支援することにより、継続的な地域活性化を図ります。



◆田村駅周辺空間活用

150 万円

利用者の視点を取り入れ、市民が活動しやすいハード整備につなげるため、大学・企業・地元等との協働による社会実験を通して、田村駅周辺の道路や河川、公園、広場などの公共空間の活用案を作成します。



◆丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備 1億 650 万円

丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備実施計画に基づき、水源地域において市が担う市道等の社会資本の整備や、地域が主体となって取り組む新たな地域振興事業に対し支援を行います。



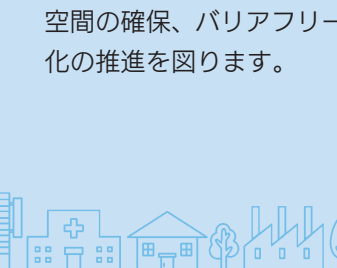
◆南田附神前線整備 2億 325 万円

国道8号～長浜赤十字病院の区間(約300m)に道路を開設することにより、長浜赤十字病院を含む中心市街地へのアクセス向上と交通の分散による渋滞の緩和を図ります。



◆地福寺神照線整備 2億 4,065 万円

駅前道路(県道間田長浜線)～市道南田附神前線の区間(338m)に道路を整備することにより、交通の分散化や安全で快適な歩行空間の確保、バリアフリー化の推進を図ります。



産業・交流 ～まちの魅力が光り活力にあふれる～

◆移住交流推進

1,540 万円

地方移住の機運上昇を踏まえ、受入体制の強化や田舎暮らし体験ツアーを実施するほか、移住に要する経済的負担を軽減することで、移住希望者の不安を取り除き、地域への人の流れの強化・担い手不足の解消を図ります。



◆ワーケーション推進

660 万円

地方で働きながら、地域ならではの自然や歴史文化を体験交流する「ワーケーション」を推進し、リモートワークする企業やフリーランスの受入体制を整備することで、都市部からの人やスキル、ビジネスの流れを創出します。



◆労働力マッチング支援

207 万円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業活動の一時的な縮小を余儀なくされた事業主や、労働力不足が深刻な事業主に対し、在籍型出向制度(雇用シェア)の活用を促し、地域全体で雇用を維持する体制を整えます。



◆農業者収入保険加入促進支援 720 万円

新型コロナウイルス感染症の影響や近年多発する自然災害等による減収に備え、農業者の経営安定化を図るため、農業経営収入保険への加入を支援します。



安全・安心 ～不安なく穏やかに暮らす～

◆告知放送システム改修

990 万円

同報系防災行政無線再整備に伴い、市の防災情報伝達手段としての役割を終えることとなった告知放送システムについて、余呉、西浅井両地域の各自治会と民間事業者との協働による民営での利活用を図ります。



◆安全・安心のまちづくり推進 1,670 万円

交通安全の推進、地域防犯力の向上を、市民協働によって推進するため、地域づくり協議会が主体的に取り組む交通安全、犯罪防止などに「安全・安心のまちづくり推進事業交付金」を創設し、地域課題解決を支援します。

